

令和3年3月31日。本日を持ちまして秋田臨海鉄道株式会社は、創業以来、50年間にわたる貨物鉄道輸送の歴史に幕を下ろしました。

当社は昭和45年4月21日に設立され、翌46年の7月7日から南線全線及び北線の秋田港駅～中島埠頭駅間で営業を開始し、同年10月1日には全線が開業しました。会社の設立趣意書には、秋田港の整備拡張と大規模な臨海工業用地の造成が進み、飛躍的な増加が見込まれる貨物輸送需要に対処するため、国鉄（当時）と一体となった地方鉄道設立の必要性が切迫感をもって綴られており、また、開業時の地元紙の記事には、秋田湾地区臨海工業地帯の動脈として秋田県産業の一翼を担う期待感にあふれた記事が掲載されております。

それから半世紀、決して順風満帆とはいえない足取りでしたが、当社は、地元に着した貨物鉄道としてその変わらぬたたずまいが、日常に溶け込んだ一つの風景として地元の皆様、鉄道ファンの皆様に親しまれてまいりました。50年の足跡をたどってみますと、その間には、企業として難題を抱えたり、苦境に立たされたりすることも多々ありました。しかし、その都度、社員が一丸となって困難を乗り越え、活路を見出してまいりました。それは、経営者も社員も変わらない貨物鉄道輸送という安全を第一に考える仕事を通して結ばれた気持ち、同じ労苦を共にすることで生まれる心意気や信頼関係のようなものが終結した団結力があつたからこそなした成果ではないかと思えます。

残念ながら、本日で貨物鉄道事業の看板は下ろします。これまで、当社を温かく見守っていただきました皆様に万感の思いをもって感謝の気持ちをお伝えし、お別れとさせていただきます。これまで永らくの間ありがとうございました。

秋田臨海鉄道株式会社
代表取締役社長 志水 仁